

## <IoT PLC通信モジュール> ～ IEEE1901-2010準拠「HD-PLC™」～

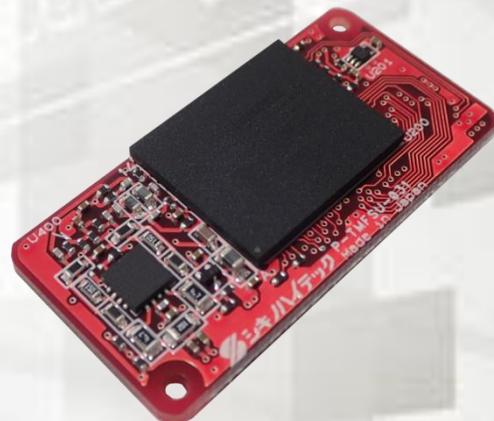
### 【電力線通信】 シキノハイテックのIoT PLC通信モジュールとは？

・電力線など既設配線を利用して高速データ通信が可能になります。  
既存の配線を利用することで新たに通信用ケーブルを敷設することなく  
有線ネットワークの構築を可能にします。

・マルチホップ機能を搭載しており複数のIoT PLC通信モジュールを中継  
して通信距離を延ばすことができるため、長距離通信が必要な工場・  
ビルや建設現場など幅広いシーンでの導入が可能です。

・本製品を使った通信は、データの暗号機能に加えてモジュール間の  
伝送路状態を調べる通信路推定機能も搭載している事から高い  
セキュリティ性を保持しています。

・モジュール形状は小型で複数の線材形状にも対応するため、既設  
配線を利用している高速通信機器へも容易に組み込みが可能となります。



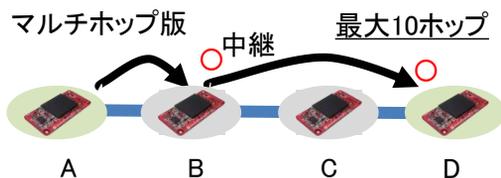
**P-TMFSU-031**

### 【4つの特徴】

- 1)長距離性
- 2)ANYWIRE (ツイストペア、電話線、同軸など)
- 3)高速性
- 4)セキュリティ性

#### 長距離性

中継をすることで数Km伝送可能



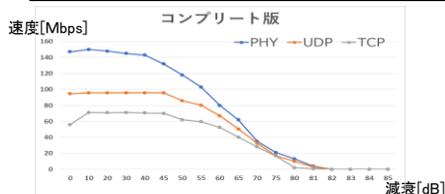
#### ANYWIRE

いろいろな配線に対応



#### 高速性

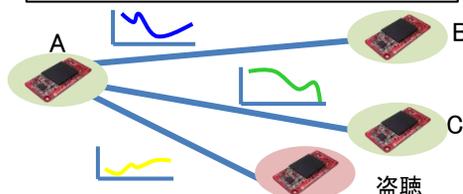
PHY:最大150Mbps,TCP:最大70Mbps



#### セキュリティ性

±AES暗号

伝送路状態が異なるため盗聴できない



## 【IoT PLC通信モジュールを利用するメリット】

有線接続  
(無線との併用)

- ・無線では電波が届かないところがある
- ・無線では繋がっていたところでも  
将来、電波が枯渇し通信できなくなる可能性

既設配線利用

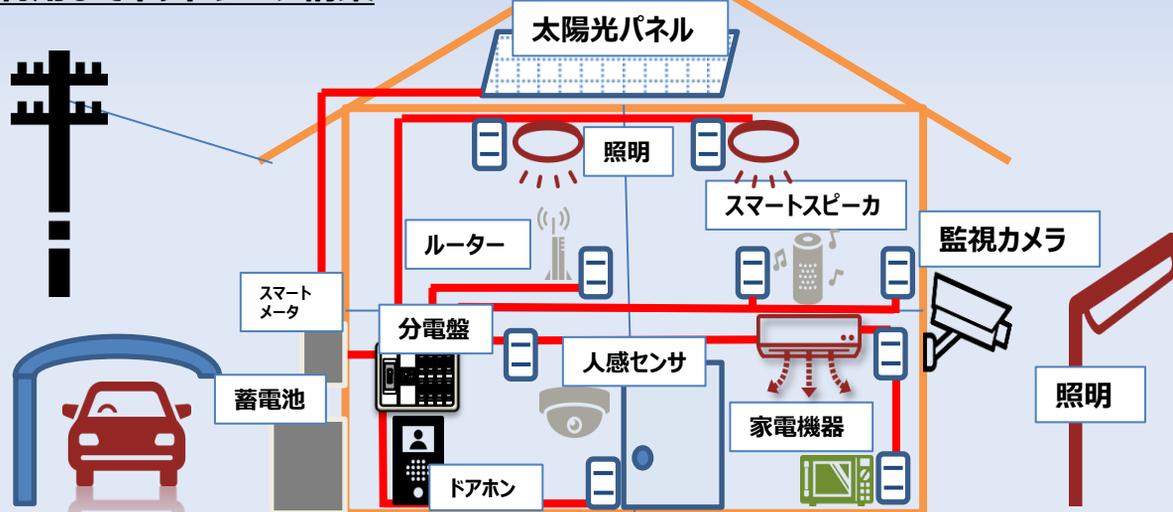
- ・Ethernetの新設・増設工事は工事費がかかる
- ・Ethernetの分岐はHUB必要でメンテナンスが必要
- ・施設にはさまざまな敷設線が配線済み
- ・据置機器には必ず電力線がある

省線化

- ・高速通信のため複数の通信線を一つに纏められる

## 【IoT PLCの活用例】

家中に張りめぐされた電力線を利用してネットワーク構築



※海外使用事例含む

お問合せ・ご相談・ご用命は、下記にてお待ちしております。

電子システム事業本部 本社

電話 (0765) 23-6176

担当者:

須藤 メールアドレス: [sudo.kohei@shikino.co.jp](mailto:sudo.kohei@shikino.co.jp)

道場 メールアドレス: [michiba.kazuhiro@shikino.co.jp](mailto:michiba.kazuhiro@shikino.co.jp)